

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和4年度第3回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和4年12月12日(月)		
開催場所	小金井市野川クリーンセンター		
出席者	委員	<出席者：10名> 渡辺会長・岡山委員・溝入委員・岸野委員・橋本委員・林委員・黒須委員・清家委員・石原委員・續木委員 <欠席者：4名> 大関委員・土屋委員・齋藤委員・堀越委員	
	事務局	今井ごみ対策課長・鈴木ごみ処理施設担当課長・府川減量推進係長・高田清掃係長・八方主査・高橋施設係長・高花	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	1
会議次第	1 開 会 2 報 告 3 議 題 令和5年度一般廃棄物処理計画について 4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	これより令和4年度第3回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。 では、配付資料について事務局に説明を求める。
府川減量推進係長	(配付資料確認)
渡辺会長	前回、令和4年度第2回審議会の会議録について、意見・修正があれば申し出ていただきたい。 岡山副会長から微細な修正があるようなので、指摘された部分の修正後に事務局にて公開手続きに入る。 次に、報告について事務局から説明を求める。
今井ごみ対策課長	(「報告事項」について説明)
高田清掃係長	(「令和5年度ごみ・リサイクルカレンダー表紙絵の決定」について説明)
鈴木ごみ処理施設担当課長	(「報告事項」について説明)
渡辺会長	事務局からの報告に対して意見・質問はあるか。 それでは、令和5年一般廃棄物処理計画について事務局に説明を求める。
府川減量推進係長	(「令和5年度一般廃棄物処理計画(案)」について説明)
渡辺会長	事務局からの説明に対して意見・質問はあるか。
岡山副会長	例えば、前回の審議の中で「基本計画で「重点」とした項目がやはり重点課題であるから、特筆するようにしたらよいのではないか」という意見を踏まえてあるなど、よくまとめている。 ただ、こうして改めてみると、これはこれで気になるところがたくさんある。 一つには、重点課題、重点項目だけに関する施策等は書かれているが、それ以外の「強化」や「充実」に関するものが出てこないことになってしまい、実施しているものが、実施してい

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	<p>ないようになってしまう。</p> <p>私も同様に感じる。令和4年の実績では「重点」「強化」「充実」がそれぞれ示されているのに、来年はこれしかやらないのかという印象になってしまう恐れがあるので、令和5年のほうも、こういった項目は「強化」「充実」として続けていくということを示した方がよいのではないか。</p>
林委員	<p>いままでは「重点」「強化」「充実」と分けている意味合いがあまり見えてこなかった。他のことに取り組まないというわけではないので、項目として書くのはよいが、いちいち「強化」と「充実」と分けて謳わず、取り組む項目として挙げておけばよいのではないか。</p> <p>それから、誤記だと思うが、P4の文章中に「8の計画項目」とあるが、「8つの計画項目」になると思う。</p> <p>これは質問になるが、P7のペットボトル自動回収装置の設置が活動結果に「設置」と記載されているが、12月31日には設置されているということか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>設置を目指し、調整しているところである。</p>
林委員	<p>企業名を入れることについての意見を受けて「コンビニエンスストア」に変更したのだと思うが、ウォーターサーバーに関しては企業名が入っているが、いかがか。</p>
渡辺会長	<p>取組としてはセブンイレブンに限ったことではないので「コンビニエンスストア」で良いと思うが、実績として導入がセブンイレブンだけなのであれば「セブンイレブン」と記載されていてもよいと思う。</p>
林委員	<p>基本的には全体を見直すことでわかりやすくなったと思う。</p> <p>少しわかりにくいと感じたところは、例えば14ページの4番目に「施策や取組の「見える化」による効果的な啓発の強化」と書いてあるが、前のページを見れば「分別・啓発活動の強化」という項目の中身のことだということがわかるものの、そこを見ないと、つながりがわからないので、何のことかと思ってし</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山副会長	<p>まう。「見える化」についても、「オープンデータ化の検討」とあるが、オープンデータ化が「見える」ということなのか、それが2件あるということなのか、そのへんがよくわからない。</p> <p>ここは基本計画を策定したときに、こだわらせていただいたところだが、既にもう実施している循環型給食を「見える化」して、小学生に対しても「くるカメ給食」のような形でPRすることが、結果的には生ごみを分別リサイクルすることへのインセンティブにつながると考えた。</p> <p>前回の審議でも申し上げたが、ここに例えば「循環型給食導入の検討」と記載していただきたいと思うがいかがか。</p>
渡辺会長	<p>何か新しいことを進めるというよりは、既にもう行われていることを、もう少しわかりやすく示そうということによいか。</p> <p>ここに記載されているオープンデータというのは、どういうことを想定していたのか事務局に説明を求める。</p>
今井ごみ対策課長	<p>東京都を中心に、4年ほど前から「デジタルトランスフォーメーション（デジタル変革）に取り組む」として「東京都オープンデータカタログサイト」というものが開設されている。</p> <p>例えば、自治体のごみの分別についてCSVやエクセルデータにしたものをこのサイトに掲載すると、民間企業はそれを用いて、ごみの分別アプリを開発したり、AIを使った画像認識システムを開発したりする。</p> <p>今年度は全庁的な方針として、小金井市でもオープンデータサイトをしっかり活用していこうというスタンスが示されたことを受け、このサイトに掲載することは、行政内部のデータを広く皆さんにご覧いただく仕組みの一つであることから、施策の「見える化」に繋がると考えて記載させていただいた。</p>
渡辺会長	<p>そういう取組も重要かとは思いますが、これは、かなり関心が高い人が、探せば出てくるというような類いのものであるから、それとは別に、市民に広く、実際どうなっているということをPRできるような形での「見える化」というのもあるのではないかと思う。</p>

(審議過程) 主な発言等

林委員	<p>都の情報サイトへの情報公開では行政としての姿勢になってしまい、市民が何か協力しながら進めていくものではなくなってしまふ。啓発の手段として、どういった取組を「見える化」して実施するかということではないかと思う。そもそも「取組内容」に「啓発の強化」と書かれても、何を強化するのかわからない。</p>
渡辺会長	<p>より効果的な啓発を行うということだと思う。そのためには、具体的に分別して集めたものが一体何になっているのか、成果としてこれだけでできているといったことを示すということが繋がってくるのではないか。</p>
岡山副会長	<p>循環給食を実施すると、なぜ自分たちが生ごみを分けなくてはいけないのかということも、子どもがわかる。もう一つ重要な成果としては、そういう給食であると、食べ残しが減る。そういった二重の意味の食育につながるということで、生ごみのリサイクルがなぜ必要かということの「見える化」として、給食というのは非常によいツールだと考えている。</p>
渡辺会長	<p>私が感じている近年の風潮としては、分けても意味がないのではないかといったことが、場合によってはインターネットなどで流れてしまう。人は都合のいいものを信じたいので、それを信じてしまうところがある。きちんと意味があって、効果があることだということを見せるというのは、今、本当に重要になってきているのではないかと思う。</p>
岡山副会長	<p>もう一つ追加させていただくと「生ごみ資源化施策の推進」に「大型生ごみ処理機器賃貸借契約の見直し」がある。おそらく小学校などについている処理機のリース期間が切れるということだと思うが、生ごみ投入などが継続されるような形で、より良い処理機に置き換えていくようにお願いしたい。</p>
林委員	<p>活動目標は「方向性を定める」と書いてあるから、これについて検討するということ挙げたような印象を受ける。 少し気になるのは、同じ「年度の活動目標」に、例えば「前年比」などと書いてあるが、毎年どのくらいだったのというの</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山副会長	<p>が、具体的に示されていない。実はピークを過ぎてどんどん減ってきてしまっているとか、そういったことが全く見えない中で、我々も議論をしてきた。もう少しデータを提示して、これは市としては少し憂えているとか、この減少傾向は何とかしたいと思っているとか、何か意思表示をしていただけるとよい。</p> <p>例えば、以前は出張講座を年間40回というような目標になっていて、それを達成したかしないかだけでA判定、C判定など評価していたことがあり、それ自体あまり意味がないと言っていた。今回についても、ずっと増加にしていってしまうと、永遠に右肩上がりに増加しなくてはいけなくなってしまうので、それを目標にするのは少し難しいのではないかと思う。目標であるから、何か目標値を決めたいということはわかるが、実施するだけでもよいのではないか。</p>
林委員	<p>単に「前年比」とするのではなく、例えば、小中学校の見学のようなことであれば、全部の学校に実施することを念頭に置いたうえで、少なくとも半分以上は達成するとか、そういったことを掲げたい。</p>
岡山副会長	<p>令和4年度のものも、何回実施したかという結果だけになっている。私は逆に、目標値として具体的な回数は書かず、やることだけが目標だというようにして、実績としては何回実施した、ということでもよいのではないかと思っている。</p>
渡辺会長	<p>少し背景の話が入るとわかりやすいのではないか。林委員の発言主旨は、「今まで少し減ってきているので回復を目指します」や「順調に増えているのでそれを続けます」という感じになったほうが分かりやすいということだと思う。</p> <p>私が気づいたのは「食品ロス削減の推進」のところで、昨年の目標には実態把握というのがあったが、今回は完全になくなっている。進んだかどうかは実態把握しないとわからないということもあるので、あったほうが良いのではないか。</p>
岸野委員	<p>5ページ2のリユースについて、夏休み生ごみ投入の実施場所で期間限定の靴・かばん類の拠点回収を行ったが、実施後の</p>

(審議過程) 主な発言等

林委員	<p>夏休み生ごみ投入連絡会で、たくさん回収できたので回数をも う少し増やしてほしいという要望があった。例えば、自治会や 町内会が靴や鞆の回収を実施したいとなったときに、市が協力 することは可能か。可能であれば、平日なのか土曜になるのか。 もう一つ、ごみゼロ化推進会議では推進員の人数を増やすこ とが課題になっているものの、具体的にどうすればよいのかわ からない。自治会から推薦というものがあるが、自治会自体が 大体高齢化していることもあり、若い人の加入がない。できれ ば、市でも何か施策として実施していただけるとありがたい。</p> <p>土曜生ごみ投入連絡会の事務局をしているが、活動をしてく ださっている市民ボランティアの方に、市の基本計画でも処理 計画でも、皆さんの活動を市が支援しますよと謳ってしてくれ ますよ、と説明している。</p> <p>令和4年までの処理計画には、具体的な取組として「生ごみ 投入リサイクル事業の実施及び自主的な市民活動への支援」と 入れていただき、実際の活動を実施するという事になってい たが、今回の資料では文言が消えている。確かにスタンプラリ ーなど実施したことは書いてあるが、目指すところが抜け落ち ている。自主的な市民活動への支援は基本計画の中に謳われて おり、それを今まで処理計画に落とし込むことで築かれてきた 拠り所が、今回すっきりさせるために記載をなくしたことで失 われてしまう。</p> <p>どこまで細かいことを書き込むかというところはあるが、基 本的なポイントとしては、基本計画の中で謳っているような項 目は、何らかの形で処理計画の中に少し落とし込んで、つない でいただきたい。</p>
渡辺会長	<p>市民活動への支援というのはかなり重要な話だと思う。 それから「見える化」については、もう少し具体的にすると いうことと、取組内容については、「重点」はこれだとして特出 するのはよいが、もう少し充実させてもよい。</p>
林委員	<p>職員の意識も、ここにそういったことが書いてあるか、書い ていないかで、少し変わってくると思うので、結構重要なポイ ントではないか。</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	<p>ごみゼロ化推進員の増員に関しては、かなり増やす必要があるということなら、具体的に提案できそうなことはあるか。</p>
石原委員	<p>増員というか、やはり若い人への入替えは確実にやっていかなければならない。</p> <p>リサイクル推進協力店は事業所部会で進めたものであるし、ペットボトル自動回収機の設置についても、はじめに事業所部会がセブンイレブンと話し合った。市民活動が一所懸命にやっていることを市が取り込んでバックアップしていく体制になって、小金井市自身のごみ減量を文化のようにしていかない限り、若い人を呼び込んでいけないのではないか。</p>
溝入委員	<p>今回の案について、重点項目を特筆して分かりやすくしてあるが、同時に重点の意味合いをわかるようにしてあるほうが、よりよくなったのではないか。</p> <p>それから、全ての項目に「重点」「充実」「強化」のいずれかをつける必要があるのか。例えば15ページ「3. 廃棄物処理を支える体制の確立」は、(1)も(2)も他の団体の関わることであるにも関わらず「強化」としているが、これでよいのか。</p> <p>もう一つ、9ページに一般廃棄物処理計画(量)の令和3年実績と、10年後の令和12年の数値が出ているが、ごみゼロタウンを謳うスローガンがあるにも関わらず、双方の数値がほとんど変わらない。このスローガンとこの内容が、どういう整合性を持つのか。ごみゼロタウン小金井というほど目標としているのだから、実際にはこれだけしかやらないが、もっと頑張ってくださいというようなメッセージがあってもよいと思う。</p>
渡辺会長	<p>人口が増加しているにも関わらずごみを減らしていくと、このへんが現実的な数値になるのだとしても、確かに少し説明があったほうがよい。</p>
林委員	<p>3市の市民会議で、理念として可燃ごみゼロを目指しましょうという話をしているが、市の計画に立ち戻るとそういった切迫感というか、特に燃やすごみは減らさないと焼却場がなくなってしまうんだという話が見えてこない。その辺を市民に訴えかけるのは難しいというのはよくわかるが、何かそこをよく考</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	<p>えて取り組んでいかないと、結局、時間が経って、さあどうしましょうということになりかねないという気がしている。</p> <p>3市ごみ減量推進市民会議への参画というのが「強化」で入っている。そういうことが市民会議の結論として出されているのであれば、どこかに「3市ごみ減量推進市民会議では10年後に半減、30年にはゼロを目指す」と決められています」というようなことが紹介されてもよいかもしれない。</p>
林委員	<p>コラムで紹介されてもおかしくないような気がする。</p> <p>「強化」というのは、市が力を入れてやりますと言っているだけで、溝入委員が言われたように、他市と調整しての話に対して「充実」「強化」とするのは違和感がある。</p>
溝入委員	<p>切迫さという意味では、職員がその部分は率先して実施する必要がある。コラムが載せられるとしたら、職員がどういう取組をして、どういう成果を上げているかを大きく取りあげてもよいのではないか。自分たちはこれだけ努力しています、皆さんもお願いします、という文脈があってもよい。</p>
府川減量推進係長	<p>お配りした市報特集号の4面をご覧ください。こちらが大規模事業所を中心とした市施設のごみ量の報告である。</p> <p>今回、少しリニューアルし、年度別対比などといったものが見やすいような工夫はさせていただいた。</p>
石原委員	<p>今回の市報を見ると、令和3年の前期と令和4年の前期で家庭系ごみが減っている。こういったことをトピックで分かるようにコラムに入れてもよいと思う。</p> <p>溝入委員が言われたように、これはやはり圧縮し過ぎてしまっている。せっかく市としても努力して、こういう数字化というか「見える化」しているのだから、この辺のことはある程度盛り込んでおいたほうがよい。</p>
岡山副会長	<p>もともとは「充実」「強化」「継続」のようなものがあった。ごみの事業だから「継続」することは当たり前だが、その中でも、より力を入れなければならない、あるいは新規で始めたな</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>どといったところがあって、それらが少し特筆されているような感じだったと思う。ただ、途中から毎年ルーティンでやることは評価をしなくてもよいことになった。だから、例えば(2)の適正処理のほうはもう完全に評価外にしてしまっているが、これが重要ではないのかといったら、そうではなく、ついでにマークに関わらず、市の事業としてやらなくてはならないことが取りあえず書かれているはずである。</p> <p>最初に言ったとおり、ただ重点だけを特筆するというのは、来年こういったことを実施します、という市の事業の意思表示もないということになってしまうので、少し削り過ぎかと思う。できれば何らかの形で、この次に出すといったことがあってもよいと思う。</p> <p>14ページの「実施する具体的な取組」について、全部書いてなければいけないのか、例示扱いなのかで異なると思う。もし例示であれば、少し先のほうで補足する説明が記載されていてもよいのではないか。あまりにも増え過ぎると、見た人に圧迫感を与えて伝わらなくなってもいけない。表にたくさん記載があるから、過去に多過ぎるのではないかという議論が出たように感じた。もしそうであれば、全部書いていなければいけないのか、例示なのか、説明がつけられないのかによって、少し圧迫感を減らすなど、何か考えられるのではないかと思う。</p> <p>非常に良い提案だと思う。主なものとして重点だけを特出しているが、「これは主なものです」といった表記がないので、これだけを実施するという感じに捉えられかねない。であるので、背景や、そういったことも含めて何か説明が少しあっても良いと思う。</p> <p>基本計画の中に各施策等々全ての項目が入っているから、重点項目に絞り込んだらよいのではないかとのご意見を踏まえ、基本計画の中でも、令和5年度単年度の計画として重点的に取り組むものを、ここで網羅していこうという形で整理をさせていただいた。</p> <p>これだけかと言われると当然そうではなく、確かに今、橋本委員が言われたように、これだけではないのだという記載は必</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	<p>要かというところはある。</p> <p>「充実」や「強化」という項目は基本計画のほうに意図するところの記述があり、その部分との整合を考えると、一度に全てなくしてしまうというのは難しいように思う。</p> <p>上位計画としての基本計画がある中で、処理計画は単年度の実施計画的な位置づけであることから考えると、特に重点的に取り組んでいくものに絞りで特出し、市民の皆さんにお知らせするものとして、もう少し処理計画をコンパクトにするのも一つかと思う。記載されていないから、やらない項目があるのではないかと捉えられるという話が出てきてしまうと、上位計画である基本計画に記載しています、としか言いようがなくなってしまうので、その辺りの作り込みが難しい。</p> <p>(2)の項目では、「充実」「強化」も全て挙げているので、(1)の記載とかなり相違してしまい、(1)はこれだけなのかということになってしまうのではないかという感じがする。</p>
事務局	<p>前回の審議のご意見を踏まえ、13ページの文言を整理して、「基本計画における重点項目」のすぐ上に4行書きで説明を記載したうえで、重点項目のみ特筆することとさせていただいた。</p> <p>「安全・安心・安定的な適正処理の推進」(2)との記載の相違については、こちらには「強化」と「充実」はあるものの、「重点」がないため、重点項目だけを特出することにした場合、非常に重要な部分であるにも関わらず、記載がなくなってしまうので、特に削らずそのまま記載している。</p> <p>今後、皆さんのご意見を踏まえた上で、(1)に、重点項目のほかに「充実」「強化」についても記載するのであれば、結局、以前と同じような表が踏襲されてしまう。こういった記載にするのか方針をご審議いただきたい。</p>
岡山副会長	<p>まず、14ページの表には「令和5年度」と記載する。</p> <p>13ページの追記された4行の下に、それ以外の事業を行わないわけではないということと、各事業の詳細については基本計画を見てくださいということが記載されると良いと思う。</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	<p>そのうえで、やはり統一を図らなければならない。重点項目だけ載せるのであれば、(2)のところは項目だけで表なしということにしないと、バランスが取れないように感じる。</p>
溝入委員	<p>橋本委員が言われたように、14ページの後ろに具体的な年度の活動目標は書かずにその他の項目を並べてもよい。</p> <p>「年度の活動目標」を定め、5年度にきちんとやろうとしているのはこれですという意思表示を示したうえで、ほかの項目もあるので、もちろんそれもやります、というぐらいの書きぶりでもよいのではないか。目標設定をそこまで行わないのであれば、全く書かないよりはすっきりするのではないかと思う。</p>
渡辺会長	<p>(2)の項目との整合性というか、バランスが少し合わないので、1の項目に対する「強化」「充実」項目としては、こういうことがありますという一覧だけでも記載されているとよい。</p>
溝入委員	<p>(1)の重点項目以外の項目について、15ページの(2)の表と同じような表が入るのもよいと思う。</p> <p>たくさん表が出てきてしまうのは、ある意味仕方がないのかもしれないが、文章がかなりすっきりしたので、文章を読んできて、初めの基本計画における重点項目はこういうのがあった、その次に、5年度の重点項目に対する各取組の展開にはこういうものがあって、目標を決めている。その他のものは、その後ろに出てくる感じがよいのではないか。</p>
林委員	<p>もっと割り切って、具体的な取組などは書かずに取組内容を1行ずつ記載していけば、1ページで済んでしまう。それで足りなければ、「このほか重点以外にも、今年度は引き続きこのようなことを実施してまいります」という1行を書いておけば、それで済んでしまう。</p>
渡辺会長	<p>だから、(2)をすごく簡単にしてしまえば、なんとなくバランスがとれて、これが重点ですよ、ということが見える。</p>
溝入委員	<p>16ページの「災害廃棄物処理計画に基づく体制の整備」という部分で、具体的な取組に「災害廃棄物処理計画及びマニュ</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>アルに基づく訓練の実施」とある。実際にそれを運営することに関して以前ここに記載されていた「目標」の記述がなくなってしまい、市役所の中でどうしているのか全く見えてこないがどうなっているのか。</p>
高田清掃係長	<p>初動マニュアルに基づき、今年度、関係課に呼びかけて訓練を実施した。</p>
渡辺会長	<p>他になにかあるか。</p>
石原委員	<p>1 ページのところで、「小金井市廃棄物基本計画」はかぎ括弧でくくってあるが、それ以外の、例えば法律や浅川清流組合のような、特に固有名詞や法律に関しては、かぎ括弧でくくったほうが見やすいと思う。</p>
渡辺会長	<p>団体名は別として、法律名はかぎ括弧を入れてもよい。 1 2 ページの囲みのところの 8 つの項目や、3 つの計画項目などは、来年度の実施計画に限ったことではなく基本計画における、ということが分かるように入れておいたほうがわかりやすいと思う。</p>
今井ごみ対策課長	<p>いただいた御意見を踏まえて、文字にするのか、政策体系図のようにしたほうがよいのか、その辺も含め考えたい。</p>
岸野委員	<p>土曜生ごみ投入連絡会の中で、廃油の回収が増え続けています、行政回収を実施してください、という意見が出る。再利用する、というようにこの中に入れることはできないか。</p>
林委員	<p>小委員会で検討した報告書を市に提出したが、何らかの形で市の公式な見解というのを出していたほうがよいのではないか。特に、小委員会で検討して提言書をまとめたのだから、市の事業としては取り組まないというのであれば、「こういう理由で市としては取り組むことは考えておりません」というように決着をつけておかれたほうがよいと思う。</p>

(審議過程) 主な発言等

今井ごみ対策課長	<p>ご提言いただいたところから数年たって見解を出すというのも難しい。どういった形でお示しできるのか、出し方を含めて考えたいと思う。</p> <p>今日いただいたご意見を踏まえて、もう一度見直しをさせていただきます。</p>
黒須委員	<p>廃油の件は、当時、市からは「家庭で揚げ物をする人がすごく少なくなっている」というような説明があって、私はそれで納得したように思う。やはり携わった方々は、きちんと理由を出して欲しいと思っているのだと改めて感じた。</p>
岡山副会長	<p>ごみを拾うことはとても大切なことだと思って実践している若い人たちは結構いると思うので、ごみゼロ化推進員のまち美化部会だけが清掃活動をするのではなく、「この日にやります」といった告知のようなことを市民に向けて発信したら、若い人たちも参加してくれるのではないかと思います。</p>
橋本委員	<p>いろいろなところで若い人にどうやって参加してもらうかということが議論されているが、若い人の立場で考えると、やはり今すでにある集団の中に、若い人が1人、2人が入ったら、いずれは自分1人がその集団を担わないといけないのではないかとこの恐怖心があるのではないかと。真面目な人ほどそういう恐怖心があると思うので、絶対に推進員を増やすということではなく、もしかしたら若い人もこれだったら入れるのではないかと思えるような柔軟な形も考えないと、若い人たちは入ってこないかもしれない。今は私も具体案がないが、少しずつ考えられたらと思う。</p>
渡辺会長	<p>小金井は大学もたくさんあって、大学の中には環境サークルなどもあると思うので、そういうところの単位で、何かの機会やイベントに参加していただくとすごく増えると思う。</p>
岡山副会長	<p>全国的に人口が減り、若い人自体が減っているという中で、小金井市はすごく異例に若い人が増えている自治体だと思う。</p> <p>先ほどの油のことでいえば、高齢者になると揚げ物をしなくなるというのが一般的には言われていて、廃食油自体の発生が</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>少なくなるというのは予測されており、その少ない量を、わざわざ集めるかどうかについては、議論が分かれるという結論だったと私も理解している。</p> <p>ただ、小・中学生の親が今後増えてくる可能性がある小金井市においては、廃食油の発生が増える可能性もあると思うなら、今度は事業者とタイアップをして回収するのが、割と一般的なやり方だが、これには事業者の協力が必要になる。</p> <p>そういうことを施策化するかどうかは、今後検討していくこともあってもよいかと思う。</p> <p>それから、若い人が楽しむイベントという意味では、単なるごみ拾いやりですでは集まらないが、ごみを拾った量で勝敗がつくといったスポーツごみ拾いのようなイベントを考えてみるのもよいかもかもしれない。</p> <p>もう一つ、若い人というと、子育て世代を考えるとと思うが、そういった方は忙しいため、なかなかこういった社会活動に参加できないというのもあるので、くるカメ給食のように、例えば、学校を巻き込んだものが何か一つあると、そこに興味を持ってくれる保護者は必ずいる。学校を巻き込んだ取組の中から、子供会の皆さんを含めて、仲間を募るといった方向性ができてくるとよいと思う。</p>
石原委員	<p>子供会と一緒にするのは非常にうまくいく。私は貫井神社の世話人もやっているが、山車と神輿に60人以上の子どもが集まる。今は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていないが、やはり子供会の保護者の方々が一所懸命に集めてくださっている。</p>
渡辺会長	<p>小金井における文化の一つとして、こういったサークルの取組が定着するという意味では、地域での、子どもも含めた関わりが重要になってくると思う。</p>
黒須委員	<p>子供会は、6、7年ぐらい前から急速に加入者が減っていて、現在ははかるうじて維持しているものの、今後の存続が危ぶまれるという状態の子供会が多くなっている。やはり保護者の働き方が変わってきて、共働きの家庭が増えている。保護者の負担をいかに減らして、やったら楽しいと親子で思ってくれるよう</p>

(審議過程) 主な発言等

續木委員	<p>にするには、どうしたらよいかを検討しているところである。</p> <p>若い人は時間がないということは私も感じる。土曜生ごみ投入の時に話しをすると、もう少し取り組みたいが時間がないということをよく聞くので、見方を変えて、ちょうど退職したあたりの方を若い人と思ったほうがよいのではないか。例えば、今度、退職するということを聞いたら声掛けをしてみるなど考え方を変えてみてはよいのではないかと思う。</p>
岡山副会長	<p>恐らく、昔からある古いコミュニティはまだよいと思うが、集合住宅、マンションについては、その中にこういったコミュニティが全くできていない可能性がある気がする。人口が増えたのはよいが、社会活動に、いかに集合住宅の方に入っていたかというのは結構大きな課題だと思う。</p>
渡辺会長	<p>そういったことも含めて、文化として定着させることができるとごみの減量に一番よいのだろうと思う。</p> <p>それでは、以上をもって審議会を終了する。</p>